

CIEC Newsletter

お知らせ

＜P Cカンファレンス北海道 2006＞～CIEC 研究大会

テーマ：「コンピュータ利用教育をすべての人へ」

開催日時：11月3日(金)13:30 ～ 4日(土)12:55

開催場所：北海道大学 高等教育機能開発総合センター

参加費：一般 3,000 円 院生学生 1,000 円 イブニングトーク 500 円

＜P Cカンファレンス九州 in 熊本大学＞

テーマ：「e ラーニング～デザインから“全学化まで”～」

開催日時：12月2日(土)13:30 ～ 3日(日)12:45

開催場所：熊本大学黒髪キャンパス

参加費：3,000 円 レセプション 4,000 円

CONTENTS

＜2006PC カンファレンス＞

- ・2006PC カンファレンス報告 2

＜CIEC 活動報告＞

- ・2006 年度 CIEC 定例総会報告 4

＜CIEC からのお知らせ＞

- ・CIEC 第 62 回研究会開催案内 5
- ・PC カンファレンス北海道 2006 6
- ・PC カンファレンス九州 in 熊本大学
- ・会誌 21 号発行のお知らせ

CIEC 会員状況

＜個人会員 859 名＞

教員 627、大学職員 14、
院生 52、学生 4、
生協職員 85、企業 30、
研究員 8、その他 39

＜団体会員 95 団体＞

企業 32、生協 57、
大学 2、高校 1、
法人 3

CIEC ニューズレター

2006 年 10 月 13 日

発行：CIEC（コンピュータ利用教育協議会）

編集：CIEC 運営委員会

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協会館

TEL 03-5307-1195 FAX 03-5307-1196

e-mail jim@ciec.or.jp URL <http://www.ciec.or.jp/>

2006PCカンファレンス

2006PC カンファレンス概要報告

2006PCカンファレンスは8月3日(木)～7日(土)の3日間、立命館大学衣笠キャンパスを会場に開催されました。おかげさまで870名を得て盛会のうちに終了致しました。

- (1) 開催日時 2006年8月3日(木)～5日(土)
- (2) 開催場所
立命館大学 衣笠キャンパス (〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1)
- (3) 開催テーマ
自由な学びか、トレーニングか ～教育とIT～
- (4) 主催団体
CIEC (コンピュータ利用教育協議会)
全国大学生活協同組合連合会
2006PCカンファレンス実行委員会
- (5) 後援団体
立命館大学、文部科学省、京都府教育委員会、京都府教育委員会、財団法人大学コンソーシアム京都、KBS京都、NHK京都放送局、京都新聞社、現代教育新聞社、日本教育新聞社
- (6) 実行委員会

名誉実行委員長	長田 豊臣	立命館大学 学長
実行委員長	佐藤 満	立命館大学
実行委員長代理	松田 憲	立命館大学
副実行委員長	佐伯 胖	青山学院大学 CIEC会長

全体会 約300名
 実施日時 8月3日(木) 10:00～10:20
 開催場所 以学館1号ホール
 開会挨拶 佐藤 満 立命館大学 2006PCカンファレンス実行委員長
 開催校挨拶 長田 豊臣 立命館大学総長
 来賓挨拶 勝間 喜一郎 京都府教育委員会教育次長
 来賓挨拶 門川 大作 京都市教育委員会教育長
 司 会 立田 ルミ 獨協大学 (CIECカンファレンス委員)



講演会 約330名
 実施日時 8月3日(木) 10:20～12:00
 開催場所 以学館1号ホール
 講演者 陰山英男 立命館小学校副校長 立命館大学教授
 講演題目 今日 の 学び を 考える ～徹底反復学習とICT機器～



シンポジウム 350名
 実施日時 8月3日(木) 13:00～15:30
 開催場所 以学館1号ホール
 テーマ 自由な学びか、トレーニングか ～教育とIT～
 パネリスト: 板倉 隆夫 鹿児島大学
 大庭 まゆみ ハミング発音スクール
 陰山 英男 立命館大学
 菊宿 俊文 大東文化大学
 筒井 洋一 京都精華大学
 司 会 若林 靖永 京都大学



シンポジウム2 (大学生協職員部会) 119名
 実施日時 8月4日(金) 15:15～18:15
 開催場所 明学館96 (399収容)
 テーマ: 大学の中で広がる自発的な学びあい～変遷する「情報教育」進展する「教育の情報化」の中で～
 報告1: 「金沢大学のPC必携化とe-Learningの全学展開～現状と今後の取組～」
 松本豊司 金沢大学総合メディア基盤センター情報教育部門
 「金沢大学のPC必携化における金大生協の取組と教訓」
 坂口辰彦 金沢大学生活協同組合
 報告2: 「京大生協PCサポート講座報告」
 藤本成彬 (京都大学工学部 3年生)
 「京都大学自主研究ゼミナールの報告と、生協サポート講座への期待」
 小山田耕二 京都大学高等教育研究開発推進センター教授
 報告3: 「北大の学生によるパソコン講習の実施の報告と課題」
 武内大隼 北海道大学生活協同組合 PC Masters
 報告4: 「大学生のコンピュータリテラシーの変化」
 森夏節 酪農学園大学環境システム学部
 全体司会 中森一朗 京都大学生活協同組合
 討論司会 若林靖永 京都大学経営管理大学院



シンポジウム3: (小中高部会企画) 86名
 実施日時 8月4日(金) 15:15～18:15
 開催場所 敬学館地階210 (296収容)
 テーマ: 情報教育で子どもたちは何を学んできたか・何を学ぶべきか
 パネリスト 阪山 仁 神戸高等学校
 川崎 初治 飛翔館高等学校
 太田 容次 独立行政法人国立特殊教育総合研究所
 第1部 アンケート結果の報告
 報告者: 平田 義隆 京都女子大学 京都女子高等学校
 武沢 護 早稲田大学高等学院

第2部・第3部 パネル討論

司会 山田 祐仁 辻調理師専門学校



シンポジウム4: (CIECカンファレンス委員会企画) 約100名

実施日時 8月4日(金)15:15~18:15

開催場所 敬学館1階230(298収容)

テーマ: 大学に求められる新しい一般情報教育

第1部: 高等学校普通教科「情報」の履修状況調査報告

橘 孝博 早稲田大学高等学院



第2部: 大学の一般情報教育についての講演

田中 克己 京都大学
田中 規久雄 大阪大学
西田 知博 大阪学院大学

第3部: パネル討論

指定発言者 中條 道雄 関西学院大学
辰己 丈夫 東京農工大学
司会 綾 皓二郎 石巻専修大学



分科会

昨年に続き、ポスター賞と学生論文賞が選出され、レセプション会場にて表彰状と副賞が授与されました。

(1) ポスターセッション 発表数 53本
実施日時 8月3日(木)15:50~18:00
開催場所 以学館多目的ホール1・2



＜最優秀賞＞ 江副隆秀 学校法人江副学園新宿日本語学校
「S.N.G. SoundReader と SoundCardPrintLite による音声教材作成の可能性」
＜優秀賞＞ 鈴木治郎 信州大学
「ロボティクスを題材にした実習型授業の総括」
＜優秀賞＞ 林美帆 金城学院大学
「星空観測を支援する Web 教材「星座図鑑」の開発」

(2) 口頭発表 90本

実施日時 8月4日(金)9:30~11:55、13:30~14:55
8月5日(土)9:30~12:55



＜最優秀学生論文賞＞ 中村峻 東京工科大学
「学習者特性対応型 e ラーニングシステムによる知識保持能力の検証」
＜優秀学生論文賞＞ 大井健太郎 三重大学
「記述式小テストの解答自動分類のための特徴抽出に関する一考察」

はじめて PC Conference に参加された皆さんへ 65名

開催日時 8月3日(木)12:00~12:50

予想を遥かに上回る 70 名近くの参加者がありました。佐伯 CIEC 会長の挨拶の後、矢部副会長と生田副会長から PC カンファレンスの歴史や CIEC の活動について紹介がありました。

ワークショップ

実施日時: 8月3日(木)15:50~18:15

開催場所: 尽心館

- (1) 「Moodle Workshop」 50名
講師: 秋山 實 (e ラーニングサービス)
(2) 「Flash 8 Workshop」 40名
講師: 林 拓也 (Haphands)



イブニングトーク 130名

8月3日 18:15~20:00

＜会場: 以学館 食堂＞

テーマ1: “スローコンピューティング” を考えよう

テーマ2: 高校で本当にちゃんと情報教育やっているの?

テーマ3: 情報倫理デジタルビデオDVDから学ぶ

＜会場: 諒友館 食堂＞

テーマ4: 英語の発音と英語教育

テーマ5: moodle で始める e ラーニング

CIEC活動報告

【2006 年度 CIEC 定例総会報告】

日時： 2006 年 8 月 4 日(金)12:05～13:20
 会場： 立命館大学衣笠キャンパス 明学館 96 号教室
 出席： 本人出席 77 名，書面議決 85 通，委任状 31 通



IT フェア 約 800 名
 開催日時 8 月 4 日(金)10:00～18:00
 8 月 5 日(土)10:00～13:30
 開催場所 諒友館 食堂 (地下)
 出展企業 53 社 69 ブース
 来場者数者 約 800 名



レセプション 383 名
 1. 全体挨拶 酒井立命館生協専務
 2. 主催者挨拶 庄司 興吉 (全国大学生協連会長理事)
 若林 靖永 (CIEC 副会長)
 3. 乾杯挨拶 松田 憲 (実行委員長代理)



4. 学会表彰 生田 茂 (CIEC 副会長)
 5. ポスター表彰 松田 憲 (実行委員長代理)
 6. 学生論文賞 籠谷 和弘 (2006PCC 実行委員分科会担当)
 7. 次期開催校挨拶 大野 栄三 (北海道大学)



ポストカンファレンス 30 名
 実施日時 8 月 5 日(土)13:30～15:30
 開催場所 国際平和ミュージアム 2 階会議室 K209
 「立命館大学 国際平和ミュージアムによろこそ！」



議事

1. 開会宣言および正副議長，資格審査委員の選出
 青木理事（北海道大学）より開会宣言があった。引き続き理事会推薦による正副議長，資格審査委員の提案が行われた。議長には一色理事（高知女子大学），副議長には森夏節理事（酪農学園大学），資格審査委員には大橋理事（千葉県立東葛飾高等学校）と橘理事（早稲田大学高等学院）が提案された。他の立候補者がいないことを確認し，拍手で選出を確認した。

2. 総会運営に関する確認および会長挨拶
 一色議長より総会運営に関する会則および運営規約の確認が行われた。続いて佐伯会長より，2006 年度定例総会開催にあたっての挨拶があった。

3. 議事運営，採決方法の提案と確認
 一色議長より本総会の運営方法および採決方法について次の通り提案が行われ，確認した。
 「各議案は連続して提案し，提案後一括して討議する。採択の方法は会員証を挙げることにする。また，採択は議案ごとに個別に行ない，かつ連続して採択する。議案 5 を除き，議案はすべての出席者の過半数の賛成で議決される。議案 5 については出席者の 3 分の 2 以上の賛成で議決される」

4. 議案 1 から議案 6 までの一括提案
 生田副会長より議案 1 「2005 年度事業報告と 2006 年度事業計画承認の件」，議案 2 「2005 年度決算報告承認の件」，議案 3 「2005 年度収支差額処分承認の件」，議案 4 「2006 年度予算承認の件」の提案が行われ，引き続き中村監事より監査報告があった。
 続いて矢部副会長より議案 5 「役員選挙規約の一部改定承認の件」と議案 6 「役員選挙の件」の一部である「団体会員の理事選出の件」について提案があった。

5. 討論および意見用紙の紹介と回答
 討論に先立ち，矢部副会長より本総会に寄せられた意見用紙の紹介と回答が行われた。
 一色議長より討論は全議案一括して行うことが告げられ，討論に移った。
 討論の中で生田副会長が「2005 年度事業報告」を補足する発言を行った。『2005PC カンファレンス論文集』内容の一部訂正」というテーマで，次のような主旨の報告だった。
 ・同論文集所収の論文『学校における子どもの疲労調査と情報処理』において，著者が正式なものと認める論文と内容が異なる論文を掲載したこと
 ・PC カンファレンス実行委員会は 2006PC カンファレンス Web サイトに正しい論文を掲載し，お詫び・訂正としたこと
 討論のまとめは矢部副会長が行なった。

6. 議案 1 から議案 6 までの採択
 大橋資格審査委員より出席状況，成立状況が報告され，拍手で確認した。

一色議長が採択手順（議案ひとつごとに、かつ連続的に採択する）を説明の後、直ちに採択に移った。結果は、議案1から議案6の一部「団体会員の理事選出の件」まで、すべて圧倒的多数で採択された（各議案の採択の内訳には、委任状と書面議決書の内訳数が加算された）。

7. 議案6「会長、副会長、個人理事、監事の役員選挙結果報告の件

福島選挙管理委員長が今回の役員選挙実施の経過と選挙結果について報告した。同委員長は立候補者全員が投票総数の過半数を得て新任されことを報告した。

8. 閉会

森副議長よりすべての議事の終了が告げられ、正副議長の解任と本総会の閉会が宣言された。

CIECからのお知らせ

CIEC 第62回研究会(合宿研修)開催案内

テーマ Flash を用いた本格的な教材開発のための合宿研修

■日時：10月21日（土）10:00～17:00

10月22日（日）10:00～15:00

■場所：東京都杉並区和田 3-30-22

大学生協会館 2階 202-203,205 会議室

(<http://www.univcoop.or.jp/information/gaiyou/map.html>)

■講師：アドビシステムズ社認定インストラクター
大重美幸氏他1名

■開催趣旨

特定のツールを用いて教材開発を行う場合、数時間程度のワークショップでは、初歩的な操作を修得するにとどまり、改めてより実用的な内容の研修が必要となってしまいます。今回初めて実施する合宿研修では、1日目に参加者全員対象に Flash に関連した基礎部分の集中研修を実施し、同時に、メーカーと参加者および参加者相互の意見交換を兼ねた懇親会を実施します。2日目は参加者のニーズに合わせて、Flash のより実践的レベルの研修と、その後の参加者の完成作品についての討議を通じて、教材開発に向けてのアイデアが共有できるよう、密度の濃い内容を計画しています。なお、2日間全日程の参加スタイルに加え、1日目または2日目のみの参加も可能です。

■内容（研修スケジュール）

1日目(10/21)

9:30 参加者集合、インストール作業および動作確認
(202-203 会議室にて実施)

10:00-12:00 基礎研修パート1

(担当アドビシステムズ社認定インストラクター)

12:00-13:00 昼食

13:00-17:00 基礎研修パート2

(担当同上、途中休憩時間あり)

17:30-20:00 講師を囲んでの懇親会

(同会館5階ダイニング、時間延長の場合もあり)

2日目(10/22)

10:00-12:00 応用研修パート1

(担当同上、2クラス分割実施の場合もあり)

12:00-13:00 昼食

13:00-15:00 応用研修パート2、作品発表と意見交換

■募集定員 30名（先着順に受け付け、定員に達した時点で締め切らせていただきます）

■参加費：3,000円（1日目または2日目のみ参加の場合も同額。当日会場受付にてお支払いください。）

※懇親会に参加される場合、会費として別途1,000円いただきます。また、1日目および2日目の昼食については、会場付近に飲食店が少ないため、事務局で各日仕出し弁当の注文を承ります（代金は自己負担）。希望される方は、参加票の該当箇所にその旨明記してください。

■お申込:CIEC事務局 e-mail: sanka@ciec.or.jp
(03-5307-1195/03-5307-1196)

■備考 今回の研修に参加される方は、以下の条件に適合したノートPCをご持参ください。

OS: Windows XP SP2（今回使用予定の Captivate 2.0 が Mac OS X 未対応のため）

CPU: Intel Pentium III 800MHz 以上

RAM: 256MB 以上

HDD: 1.8GB 以上の空き容量が必要

CD/DVD: 12倍速以上のCD-ROMまたはDVD-Rドライブが必要
以上の他、LAN接続のため、Ethernetポート内蔵または無線LANカードを必要とします。

PCカンファレンス北海道2006開催案内

テーマ「コンピュータ利用教育をすべての人へ」

開催日時：11月3日(金)13:30～4日(土)12:55

開催場所：北海道大学 高等教育機能開発総合センター

主催：PCカンファレンス北海道2006 実行委員会

共催：CIEC（コンピュータ利用教育協議会）、全国大学生協連合会北海道地域センター

後援：北海道大学大学院情報科学研究科、北海道大学大学院教育学研究科、北海道教育委員会、札幌市教育委員会

参加費：一般3,000円 院生学生1,000円

イブニングトーク500円

■カンファレンスのスケジュール

11月3日(金)

・シンポジウム 13:30～15:45 会場：E-201

教科「情報」と2006年問題 -大学での調査結果から明らかになる現状と課題- 教科情報についてのアンケート結果から高大での現状と課題について交流する

・レポート発表 16:15～17:30 会場：E-206、E-207、E-215

・イブニングトーク 18:00～19:30 会場：E-206、E-207、E-215

1. テーマ：教科「情報」よもやま話

内容：シンポジウムではディスカッションしきれなかった話の続きと教科「情報」にまつわる本音トークで交流を図りたいと思います。

2. テーマ：大学生による新入生のためのパソコン講習

内容：大学生の先輩による新入生へのサポートが道内だけでなく、全国各地で活発に行なわれています。2006年を迎え、今年度の講習会を終えたことから新入生の様子の変化や、これからの講習会の内容について交流したいと思います。

3.テーマ：地域コミュニティと情報技術

内容：情報技術は、人と人とのつながりをヴァーチャルにし、地域コミュニティを個人へと解体してしまう一因であると同時に、地域の新しいつながり、連携、活動を支援する大きな力でもあります。地域住民、ボランティア組織、NPOでの情報技術の活用について交流します。

4.テーマ：Podcastと教育

内容：音声による情報配信・利用環境として注目されているPodcast。既に、アメリカや日本の大学などでもサービスを開始したところがあります。このイブニングトークでは、Podcastに興味がある、既に試してみた、といった方を対象に、Podcastの教育利用に関するアイデアや問題点などについて情報交換したいと思います。

・ITフェア 13:00～18:00 会場：E-208、E-214

11月4日(土)

・レポート発表 09:30～11:10 会場：E-206、E-207、E-215

・ITフェア 09:00～13:00 会場：E-208、E-214

・レポート発表 11:40～12:55 会場：E-206、E-207、E-21

■カンファレンス参加のお申し込み

〒060-0808 札幌市北区北8条西6丁目新和ビル3F

大学生協北海道地域センター内

PCカンファレンス北海道2006事務局(担当：黒沢孝彦)

Tel：011-737-5986 Fax：011-737-3701

E-Mail：pcch2006@hokkaido.seikyou.ne.jp

最新の情報は

<http://www.hokkaido.seikyou.ne.jp/pcch/2006/>

PCカンファレンス九州 in 熊本大学開催案内

テーマ「eラーニングデザインから“全学化まで”」

開催日時：12月2日(土)13:30～3日(日)12:45

開催場所：熊本大学黒髪キャンパス

(工学部百周年記念館及び大学教育機能開発総合研究センター)

主催：2006九州PCカンファレンス in 熊本大学実行委員会

全国大学生協連合会九州地域センター

共催：コンピュータ利用教育協議会(CIEC)

後援：熊本大学、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会

参加費：3,000円(熊本大学及び県内参加者については熊本大学生協が負担)

レセプション4,000円

■カンファレンスのスケジュール

12月2日(土)

受付 12:30～13:30

開会ご挨拶 13:30～13:45

基調講演 13:45～15:00

「インストラクショナルデザインとeラーニング」

講師 鈴木 克明

(熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻長)



・パネルディスカッション 15:15～17:00

「eラーニングの現場・現状・現実」

コーディネーター：北村 士朗

(熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻)

パネラー：西嶋 愉一(金沢大学外国語教育研究センター)

鍵山 茂徳(鹿児島大学学術情報基盤センター)

太田 浩樹(熊本工業高等学校)

右田 雅裕(熊本大学総合情報基盤センター)

・IT関連企業によるブース展示 12:30～18:00

・懇親会 18:00～19:30(会場：生協学生会館食堂)

12月3日(日)

分科会前半 9:30～11:00 ※分科会1は前半のみ

・分科会1「eラーニング全学化の現状と課題」

分科会1(シンポジウム)

「eラーニング全学化の現状と課題」

それぞれの教育現場では、eラーニングの導入や全学への普及について様々な課題が生じていることでしょう。この分科会では、熊本大学での例や各大学の現状を報告しあい、情報交換・意見交換を行います。

分科会後半 11:15～12:45

・分科会2～5(予定)

本カンファレンスの主旨に沿った教育実践のレポートや研究報告を発表します。テーマは自由です。

応募された内容に基づき、テーマを設定し分科会を開催する予定です。発表を募集しています。

■カンファレンス参加のお申し込み

〒860-0862 熊本市黒髪2-40-1 熊本大学内

熊本大学生協同組合

2006九州PCカンファレンス in 熊本大学 実行委員会事務局

Tel：096-343-4422(代表) Fax：096-343-4897

e-mail：office@pcc.cc.kumamoto-u.ac.jp(担当：平澤)

※CIEC第64回研究会が同時開催されます

テーマ：Podcastサイトを立ち上げてみよう

— 教育利用に関するワークショップ —

日時：2006年12月2日(土)10:00～13:00

会場：熊本大学黒髪キャンパス内

参加申込は直接CIEC事務局までメール(sanka@ciec.or.jp)にてお願いします。

最新の情報は

<http://pcc.cc.kumamoto-u.ac.jp/pcc1>

会誌「Computer & Education」Vol.21が
12月1日に発行されます。

特集：「検証，教科『情報』」

特集記事7本 事例報告論文2本 研究論文5本

巻頭インタビュー

宮川繁 MIT教授氏にきく

その他：PCC報告